

参加者：倉富会長、山口副会長、小池、江渡、本山、川辺、堀、原、竹下、小松、上城、佐藤、熊谷

1.

2. 会長報告

①都道府県作業療法士会連絡協議会、九州地区作業療法士会長会議

1) 作業療法推進月間への対応 2) ポスター ※事業部検討事項に記載

②第 52 回佐賀リハビリテーション研究会

→参加者は 113 名。

③介護実習普及センターへの講師派遣

→昨年同様にリーダー・サブの 2 人ペアで行っていく。22 年度に関しては、講義が行える人を選定しておく必要がある。会員への呼びかけを行う。

④認知症と家族の会 全国研修会 10 月 25 日 (日)

→・全国研修会については、家族の会と連携して参加者の動員を支援していく。事例発表は、小島病院の山口 OTR に依頼。

・運営に関しては、県士会員より協力者を募り対応する。

・参加費 2700 円、学生 1000 円。緑生館は OC に重なるため、学生は厳しい？

・家族会の会員は賛同してくれれば、誰でも OK。年会費 5000 円。広報誌が届く。

⑤精神障害者スポーツ大会

→・佐賀県大会について、5 月 26 日 (火) に会議を行う。

・スカンビオカップ佐賀県大会 (資料参照)。佐賀県精神障害者スポーツ推進協議会として支援していく。

⑥県士会組織再編

→・現職者共通研修会の講師を変更。講師に偏りがあるため。

⑦その他

→・5 月 15 日 (金) 19 時～ 公開事例検討会を行う。130 名定員に 132 名が参加予定。

行政も参加し 4 団体の共催で行う。事例提供は山のサナーレ川原 OTR。

2. 学術部、教育部より報告 (江渡 OTR)

・21 年度活動計画報告 (資料参照)。

・5 月中に開催地区を検討し、各地区から学会担当者を決定する。

・年度最初の会議で、年間スケジュールを決定する。3 回開催するが、それぞれの担当者を地区で選抜し、担当者中心に行ってもらいたい。

《検討事項》

→・第 40 回、41 回研修会、県学会、現職者共通研修会 (3 回) の担当地区および担当者を検討していく。

・会長より、それぞれの地区担当者が企画していくことで、1 つ運営マニュアル (準備や企画スケジュールなど) を県学会を参考に作成したほうが良いのでは？と意見。局長の江渡 OTR がマニュアルのたたき台を作成する方向で。

- ・ 共通研修の講師決定（資料参照）。年3回6. 9. 1月に実施予定。事例検討に関しては、事例を締め切りにして早めに発送する方向で。各講座を数人で担当するため、内容は1本共通のものがあると良い。それに加えてオリジナルで講義を行っていった方が望ましい。昨年までの講義内容を金子 OTR に伝えて内容を1本化していく。

3. 事業部より報告（小池 OTR、佐藤 OTR）

- ・ 学校への出前体験：可能な学校の情報があれば教えてほしい。加えて、その実施地区の会員に参加してもらいたい。まだ学校選定の段階。
- ・ 今年度の活動として10月の認知症家族の会に事業部として関わっていければ・・・
- ・ パンフレットの作成：作成分を提示。コンセプトは作業療法が小学生でも理解できるように。それぞれ持ち帰りで検討する。意見があれば佐藤 OTR まで連絡（5月中）。2000部印刷予定。

《検討事項として（九州地区士会長会議での検討事項も含め）》

- ・ 作業療法士推進月間をどう対応するか？
 - （案）・小中学生や教員へ作業療法士の講演を行う。
 - ・ 劇などを使って啓発活動を行う（イベント会場などを使って）。
 - ・ 8月に市民講座を行う。
 - ・ バルーンフェスタ、さかいの国祭りへの参加など。
 - ・ それらの広報のため、新聞への広告や「わさび」という若者が見る情報誌（広告料20万円ほど）に載せる、県だよりに掲載すれば、県立高校に広報できるのでは？など・・・検討していく。
 - ・ 時期に関しては、8月や2～3月の時期に行うなど、検討する。
 - 今年度は、時間の兼ね合いもあり、何らかのイベントに参加する形で対応していく。参加者は、6月頃に各病院へ打診し集め、その後計画を立案していく。来年度は、独自のイベントとして企画していく。その広報として「わさび」などの利用を考えていく。
- ・ ポスターの要請は？
 - 病院や施設はもちろん、OTがない施設や役場、保健所にも掲示してもらい、広く広報する方が良い。また掲示するところもOT室ではなく、人目につくところ。事務局でリストを作成し、必要枚数を要請する。

4. 保険部より報告（堀 OTR）

- ・ 21年度活動計画報告（資料参照）。

《検討事項》

- ・ 各領域に分けて窓口を設置する。医療保険身障分野は堀 OTR。精神領域と介護保険分野の窓口の検討を行う。→会長が検討し依頼する。
- ・ 会長より、OTが業務として報酬に直接関わっている施設があるのかなど、実態調査を行ってほしい。→保険部が対応していく。

5. 広報部より報告（上城 OTR）

- ・ 21 年度活動計画報告（資料参照）。

6. 事務局、庶務より報告（川辺 OTR）

- ・ 21 年度活動計画報告（資料参照）。
- ・ 県士会会員は 326 名（5/12 現在）。

《検討事項提案》

- ・ 決算総会を独立して行うようにする。7 月 5 日に行う予定。その際、各部局や各部員の顔合わせを合わせて行う。決算に関しては財務部の原 OTR まで各部局報告すること。
- ・ 県士会会員のカードがいるのでは？作業療法士協会のような・・・
→今後検討していく。また県士会会費未納者に対しては、葉書で送付する予定。また、
今後は法人化も考え、自動引き落としなどに変更したらどうかなど意見あり。今後併せて検討していく。

7. 第 10 回佐賀県作業療法学会会計報告（本山 OTR）

- ・ 会計報告（資料参照）。

《今学会での検討課題》

- ・午後の特別講演で参加者が少なかった。演題発表および特別講演などの時間を検討すべきである。との意見。

8. その他検討事項

- ・ 会計監査役の石倉 OTR が欠員のため、他の方を・・・
→森 OTR にお願いする（会長が連絡する）
- ・ 研修会のお知らせに関して（堀 OTR）
→PT・ST はお知らせの情報が病院によく来るが、OT の研修会情報は少ない。それぞれ情報は各病院から行っているが・・・事務局機能の整備を検討していく必要があるのではないか・・・。

次回の理事会は、7 月 14 日（火）の予定。